

那波土木學會長の言

本年一月十七日土木學會々長退任に際し、若き技術家に呼び掛けられた、會長講演の概要で 前號に續くものである。

第四 工學知識の普及

我國兒童の義務教育就學率や高等教育を受けた人々の知識の程度は、歐米諸國の其れ等と比較して遜色ないのである。然るに國民の職業に關する平均知識の程度は尙ほ大に彼に及ばざる様である。殊に科學や工業に關する知識に於て一層劣つて居る様である。之は我國産業發展上に大なる不利であるから、根本問題として一般國民に科學や工學知識の普及を謀る事が急務であると思ふ。其方法は種々あるが、手近な實行方法として次の如きものがある。

- (1) 科學及工業博物館を各地に設置する事
- (2) 科學及工業に關し兒童の興味を喚起する如き繪本及雜誌等刊行を奨勵する事
- (3) 通信教授を盛にして職工又は職工を志望する青年にして通學の便を有せざるものゝ爲に工學に關する知識や常識を授くる事
- (4) 勉めて學問の民衆化を圖る事

科學博物館は近く上野公園に設けられた、丸の内の高架線下に設けられてゐる鐵道博物館の如きは既に古いものであるが、一般國民が之を利用の程度は未だ甚だ物足りない様である。然し此種の博物館が多數設けられ、各地に出來たならば自然と民衆との接觸も多くなり日常家庭生活にまでも利用せらるゝに至るであらうと思ふ。差當つては鐵道列車内に色々有益なる参考品を陳列して各地方都邑の停車場を巡行し、都市の産業狀態及教育程度に應じて、滞在日數を加減し、實業團體學校及び家庭等に實際的利用の方法を講じたならば裨益する處大なるものがあると思はれる。先年も某新聞社と鐵道省との主催で移動展覽會が催された事もあるが、之に類した科

學的の移動博物館等も實行し度いものゝ一である。

兒童に對しては繪本や玩具の如きも有効であるが、科學的刊行物が近來次第に増加した事を見ても、一般

世人が此種のを要求してゐる事も察し得らるゝのである。月刊雜誌として發行されてゐる科學知識などは月々二萬部以上を刊行されてゐると聞いて、私達大に人意を強ふる次第である。

通信教授に就ても中學等の普通教育や、稍高等の専門學科に就ては相當の成績を擧げてゐるものもあるが、程度の低い大衆向きのものは未だ不足してゐる様に思はれる。然るに近頃に到り此種の通信教育が發表せられた事は寔に喜ばしい次第である。何うか各位に於ても之が發展に吝かならざらん事を希望致す次第である。

次に我國に於ける舊來の教育は、讀む事と書く事を主とし、記載されたる事柄を知るのを從とするの傾向があつた様に思はれる。それ故に植物の本を讀むにしても、瓣とか萼とか六ヶしい字を習ふに力を注いで瓣や萼の實質に就て知るの餘裕なく、又歴史にしても字義に拘泥して事實を検討するの餘裕がないと云ふ風であつた様に思はれる之は六ヶしい漢字を用ひた弊であるから、一日も早く漢字を一掃して腦の負擔を輕減したいものと思ふ。又各學會にて用ゆる術語の如きも統一すると同時に可成常用語、若しくは之に餘する平易なるものを選び、工學知識の普及に利便を與へ度いものである。

尙少しく岐路に涉る事であるが、文字の横書は左書にするが自然の狀態であるから結局は左書に一定される事と思ふが、今尙ほ舊慣を重んじ右横書を固守する人もあり、中々一定しない、目下の處では右書の處もあり、左書の處もあると云ふ有様で、混亂して判讀に苦しむと云ふ事もある。それ故一の判讀方法として讀初めの文字即ち頭文字に大文字を用ゆるとか、頭文字にへ又は一印を冠するとか頭文字を□の内へ入れるとか云ふ事も考へられる。